まちづくり交付金　事後評価シート

とよかわイナリズム地区

平成21年12月

愛知県豊川市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市	地区名	とよかわイナリズム地区			面積	164 ha
交付期間	平成17年度　～　平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,901 百万円	国費率	0.400		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(緑地、広場、情報板)、高質空間形成施設(市道稲荷通線)、土地区画整理事業(豊川駅東地区)
	提案事業	地域創造支援事業(公共下水道事業、安全安心まちづくり事業)

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	－	－	－
	提案事業	地域創造支援事業(総合PR推進事業)	関連事業で実施するため削除	関連事業により実施したため、目標値の変更はない
新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駐車場) 地域生活基盤施設(地域防災施設)	来街者の利便を増進させる施設整備のため追加 防災機能の向上に資する施設整備のため追加	当初より想定済みの事業であったため、目標値の変更はない
	提案事業	地域創造支援事業(小中学校防犯･防災対策事業、観光推進事業) 事業活用調査(事業効果分析調査)	防犯･防災機能及び来街者の利便向上に資する施設整備のため追加 事業効果の分析、評価及び今後のまちづくりに活かすため追加	当初より想定済みの事業であったため、目標値の変更はない

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	
	当　初	平成17年度　～　平成21年度		－
	変　更	平成　　年度　～　平成　　年度		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	乗降客数	人/年	2,207,543	H15	2,296,314	H21	1,969,987	1,975,000	△	あり		乗降客数は、名鉄の割引きっぷの廃止などにより大きく減少したが、施設整備による観光客の受入環境の向上や、土地区画整理事業による地域住民の増加により、利用回復が見られる。	H22.4
										なし	●		
指標2	駐車台数	台/年	124,945	H15	143,000	H21	145,880	149,756	○	あり		観光誘導看板やカラー舗装などの整備により、観光客の受入環境が向上し、観光客の利用促進につながった。	H22.4
										なし			
指標3	地区内人口	人	14,877	H16	15,000	H21	14,959	15,111	○	あり		土地区画整理事業による都市基盤整備等が住宅の更新や土地活用の契機となり、新たな居住者の流入につながった。	H22.4
										なし			
指標4	道路用地比率	%	18.0	H15	20.9	H21	20.2	21.1	○	あり		土地区画整理事業が順調に進捗することにより、その結果として道路用地の整備比率も高まった。	H22.4
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	建築着工数	件/年	25	H16			36	41			一体的な整備により、安全で安心できる市街地形成が図られ、建築活動が活発化した。	H22.4
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

･豊川稲荷表参道のカラー舗装化により、門前町の昔ながらの景観が強調され、高齢者の世代には懐かしく、若い世代には新鮮で、好評を得ている。
･いなり楽市などの定期的なイベント開催により、門前町そのもののイメージが向上し、観光客に偏っていた来街者が、市民も訪れる門前町へと変化が見られるようになった。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	【実施頻度】1回　　【実施時期】平成20年12月 【実施結果】事業進捗状況及び指標達成状況について庁内で確認した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後もまちづくり交付金による事業を実施する場合は、定期的にモニタリングを行い、事業の進捗及び目標指標の達成状況の管理を行っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	【実施頻度】週1回(木曜日)　　【実施時期】平成14年度～(継続中) 【実施結果】市道稲荷通線等の道路景観整備などの実施について、地域住民と地元商店街などが協働し、整備方針などを決定し、事業を実施した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後も、住民、商店街、学生、商工会議所、行政の連携体制によりまちづくり活動の推進を図っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	【実施頻度】年4回　　【実施時期】平成8年度～(継続中) 【実施結果】豊川駅東地区の地権者などで構成される区画整理審議会や協議会を開催し、土地区画整理事業の円滑な推進を図った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後も、区画整理審議会や協議会を開催し、土地区画整理事業の推進を図っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	①いなり楽市の開催：地元主催により、豊川稲荷表参道にて3月～11月の第4日曜日に開催 ②純民間まちづくり会社の活動：まちづくり会社主体で活性化に関わる事業を推進	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	市民活動団体などが主体的に活動できるよう、市は、今後も継続して側面支援を行っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

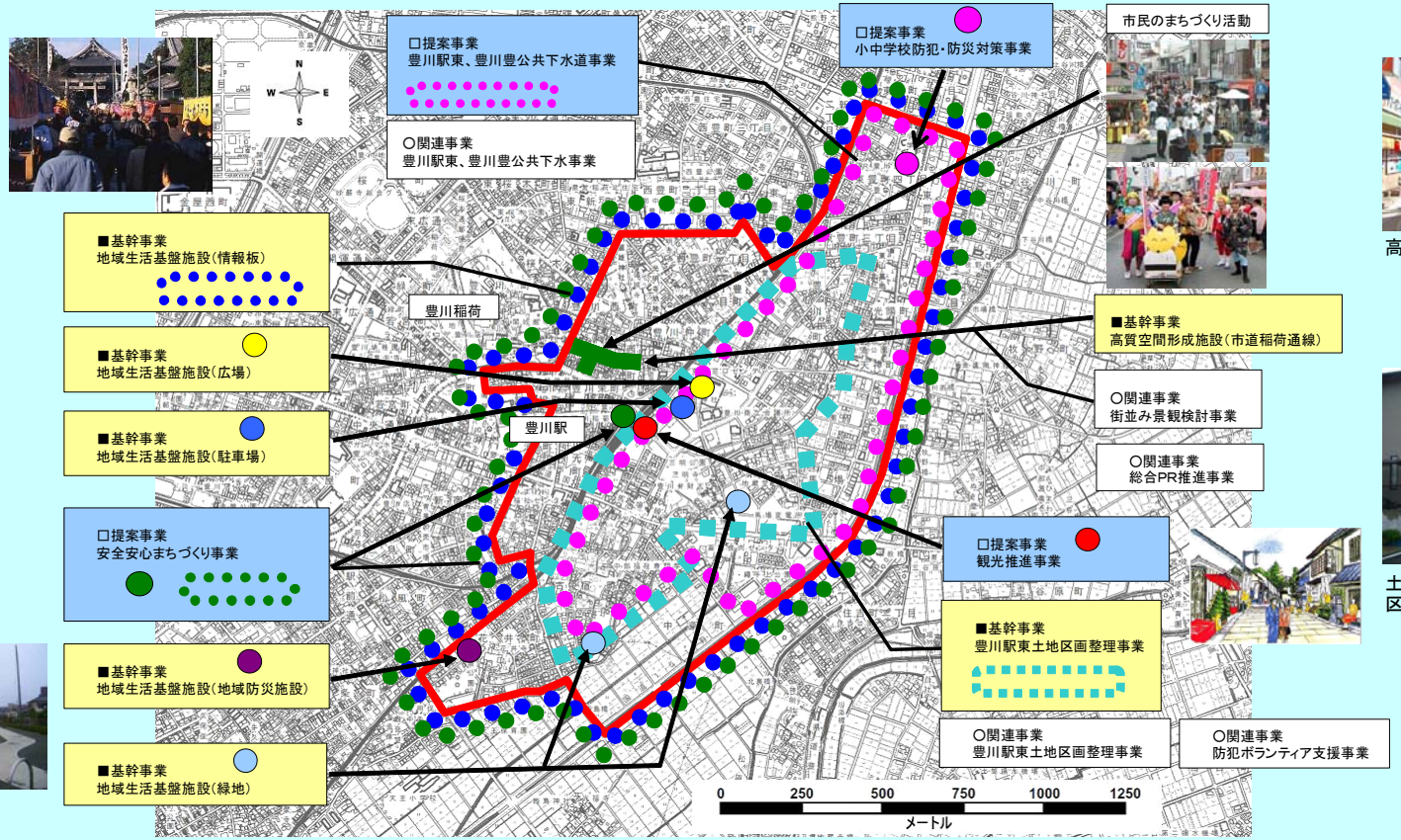
とよかわイナリズム地区（愛知県豊川市）　まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標：住んでいいじゃん！訪れてもいいじゃん！「とよかわイナリズム(豊川稲荷☆住む)」のまちづくり】 ○ 日本三大稲荷のひとつである豊川稲荷の門前町を含む中心市街地の活性化 ○ 定住人口増加(街なか人口定着)による継続的な地域再生及び都市再生の実現 ○ 安全・安心のまちづくりの推進	乗降客数	単位：人/年	2,207,543	H15	2,296,314	H21	1,975,000	H21
	駐車台数	単位：台/年	124,945	H15	143,000	H21	149,756	H21
	地区内人口	単位：人	14,877	H16	15,000	H21	15,111	H21
	道路用地比率	単位：%	18.0	H15	20.9	H21	21.1	H21

地域生活基盤施設（情報板）

地域生活基盤施設（広場）

地域生活基盤施設（緑地）



高質空間形成施設（市道稲荷通線）

土地区画整理事業（豊川駅東土地区画整理事業）

まちの課題の変化	・土地区画整理事業、公共下水道事業等の基盤整備の進捗により、宅地の有効利用が進み、地区内の居住人口が増加した。今後も、宅地の有効利用のさらなる推進が必要である。 ・案内板設置、駐車場整備、自由通路の鳥害対策などによるアクセス向上やカラー舗装による商店街のイメージUPが図られ、また、いなり楽市の定期的な開催や休憩所の設置などが商店街やまちづくり会社主体で実施され、中心市街地の活性化の兆しが現れている。今後は、さらなる来街者の増加のため、街の魅力向上に資する門前町の商店街ファサードなどの景観整備の推進が必要で
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・土地区画整理事業などの基盤整備の一層の推進を図るとともに、事業に関するPRを強化する。 ・まちづくり交付金で整備した施設を有効に活用し、また、商店街やまちづくり会社のまちづくり活動を支援するソフト事業の実施を推進する。 ・いなり楽市などの定期的なイベントやまちづくり会社の活動の実践を通じ、市民・来街者などの交流機会を増やし、多様な主体のまちづくり活動への参加を促進する。 ・街の魅力を向上させ、来街者を増加させるため、商店街景観整備の促進を図る。